

TD 勉強会 情報 110

1. ディスプレーバイアス禁止規則廃止は
優先表示増に繋がるか？
2. その他のニュース



25 日、台湾南部の高雄港に到着し、
貨物船から降ろされる台湾高速鉄
道向けの車両（A P = 共同）

1. The Possibilities For Playing With Preference

Will eliminating of the display bias rule unleash a bid for top billing in the GDS

ディスプレイバイアス禁止規則廃止は優先表示増に繋がるか？

来る 7 月 31 日に、ディスプレイバイアス禁止を含む、CRS 規則の最後の規則が撤廃される。規則が撤廃されると、GDS の優先表示（今まではディスプレイバイアスと呼ばれて来た）は、爆発的に増加するのだろうか？

確かに、GDS は、提供するプロダクトのバリューを高める為に、画面のトップを“優先表示”として、サプライヤーに販売するかもしれない。サプライヤーも、画面のトップの獲得に追加的な支払をして、販売増を試みるかもしれない。何しろ、殆どの旅行社のエージェントは、第 1 画面しか検索せず、しかもトップにリストされるサプライヤーが、最も販売される傾向にあるのだから。

Amadeus North America の CEO, Kay Urban は、「バイアスは、サプライヤーとディストリビューション・ポイント（旅行社）間の問題であり、GDS の問題ではない」と述べ、必ずしも GDS が、即バイアス販売に夢中になるような事は想定していない。

Sabre Travel Network の上級部長の Hugh Jones は、同様の意見の持ち主で、「一般的に言っ、旅行社が最終消費者との接点に存在し、GDS ではなくて、旅行社が、消費者に見せるものをコントロールしている」と言っている。「特に法人顧客は、サプライヤーとの間に、企業デイルを既に持っている場合が多く、かえってそれを邪魔してしまう事になる」と言っている。Sabre は、GDS の仕事は、消費者に役立つ point of sale（旅行社）を作り上げる事にあると見ている。「旅行に従事する人々が、画面の優先のビジネスを考える際は、消費者が実際何をしたいのかを考えなければいけない」と Jones が述べている。

GDS が、旅行社に提供するバリューは、広範囲なコンテンツである、と言う事については誰も異論ない。Amadeus の Urban も、Sabre の Jones も、バイアスは、このコンテキストの中には入らないと言っている。規制緩和の影響で、GDS は、コンテンツ（航空運賃情報）の安定した獲得の為に、航空会社にブッキングフィーの値下げを既に実施している。次の施策として、航空会社にバイアス販売を本当にしないのだろうか？ Galileo の主席部長の Ken Esterow は、「バイアスの話が飛び回っているが、規則なんか無いレンタカーやホテルのディストリビューションを見てみる。そこでは、規則が無くても、秩序だったディスプレイがチャント行なわれている。サプライヤーは、彼等が支払うフィーの中に実用性（utility）を見つけ、旅行社は、

提供される情報に実用性（utility）を見出している。それで上手く行っている」と述べている。

しかし、そうは言っても、本当に GDS のバイアス販売の余地は無いのだろうか？ 答えははっきりしない。GDS が自身の事業を継続して拡大し、IT サービスからフルフィルメントの分野へ手を伸ばしているため、バイアス販売も完全に否定される事は無いだろう。

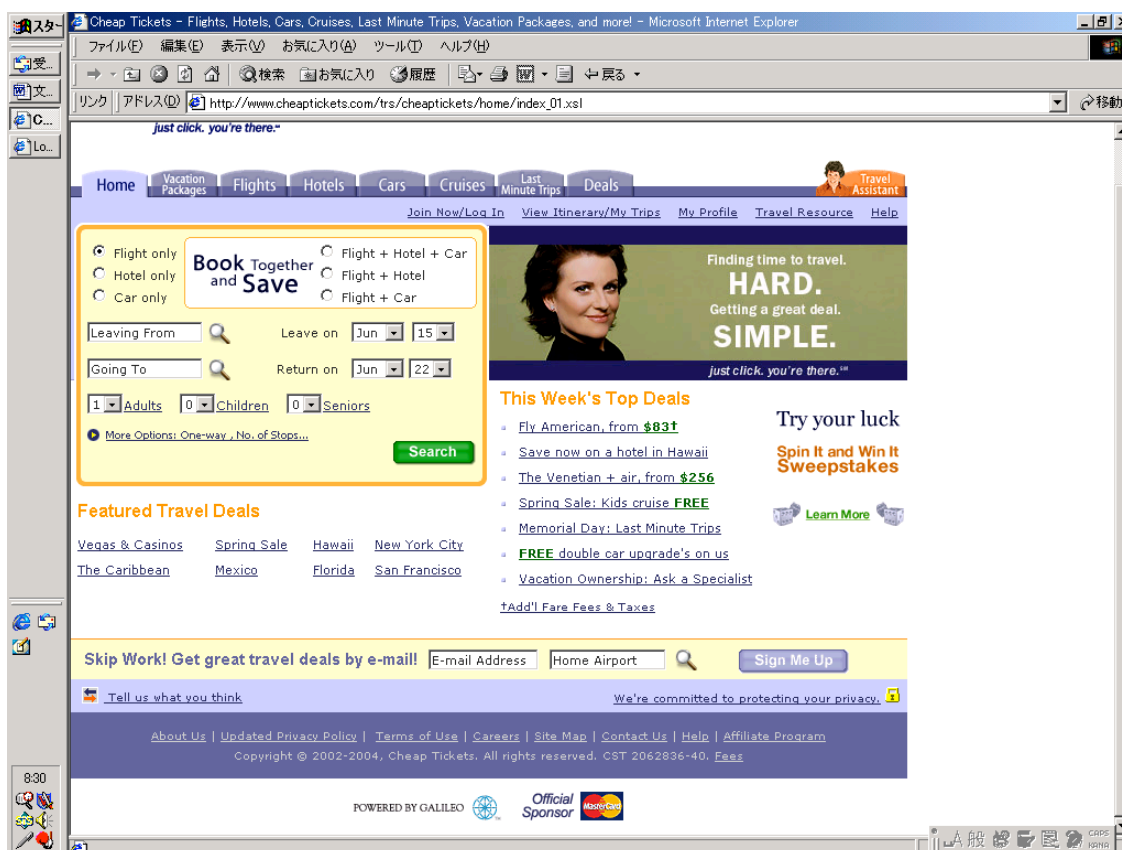
優先サプライヤー契約を保有しているコンソーシアム等の point of sale に於いては、オーバーライドの獲得の為に、優先表示（バイアス）が好まれる場合が存在する。

2. その他のニュース

- Air Canada が、5 月 20 日、最後に残っていた 7 番目の組合(Canadian Auto Workers 組合)と、賃金カットの最終合意に達した。Air Canada が、昨年 5 月に行き詰まり、Companies' Creditors Arrangement Act の保護下に入り、組合から 11 億加ドル（844 億円）の賃金カットの譲歩を受けたが、更に 2 億ドルの不足が生じていた。今回の合意により、全ての 7 組合が追加的な賃金カットに応じた事になる。Canadian Auto Workers 組合は、カスタマー・サービス、セールス・エージェントなどの地上職員等 6,400 人が構成する組合。(nytimes.com, 5/21/2004)
- US Airways は、新しい単純化した運賃構造を、ファーストクラス運賃にも適用する。但し適用路線は、Southwest が乗り入れた、PHL14 路線に限定されている。この新運賃は、コーチ運賃の GoFares に対して GoFirst と呼ばれる。新しい運賃レベルは、199 ドル(片道事前購入) ~ 299 ドル walkup から 399 ドル ~ 699 ドル。(DTW,5/24/2004)
- CO 航空が、先週 5 月 11 日の、10 ドルから 20 ドルの燃料値上げを、5 月 17 日に撤回した。撤回の原因は、競争上の理由（NW など他社が値上げを回避した）。CO は、異常な燃料値上げが継続し、顧客への転嫁（運賃値上げ）が困難となれば、航空業界に悲惨な結果をもたらすだろうと警告している。CO は、昨年 3 月時点の予想よりも、燃料費が +7 億ドル（2004 年年間）以上、上昇し、現在のジェット燃料価格は昨年の平均 68 セントを大幅に上回り、1 ドル 14 セントに達しているとコメントしている。ATA は、政府の戦略的石油備蓄の原油購入を一時停止し、その分、民間市場に回し、燃料高騰を抑制すべきだと主張しているが、実現していない。（ATA は、▲10%以上の価格抑制効果があると言っている）(DTW, 5/24/2004)
- UA 航空が、5 月 20 日より、Washington D.C.から BOS/Rochester/NYC/Syracuse NY/Columbia SC への運賃を、最低で 59 ドルに値下げする。Portland は 69 ドル、Atlanta

は 79 ドルに夫々値下げする。さらに UA は、Washington D.C.3 空港発着旅客に 2,500 マイルのボーナスマイルを提供する。これは、6 月 16 日から Washington (Dulles) に新しく登場する LCC, Independence Air への対抗のため。皮肉な事に、UA が運賃値下げする路線の運航会社は、Independence の生みの親 Atlantic Coast Airlines (ACA)。(ACA は、UA との契約により、Washington (Dulles) 発着の United Express の運航会社となっている) UA は、ACA とのリジョナル運航契約をこの夏に解消する。(Travel Wire, 5/24/2004)

- Cheap Tickets の Web サイトがリニューアルされた。サイトのスピードアップを図るために、パスワードが排除され、ログインは最早必要でなくなっている。機能の強化、アクセスのスピードアップの為にページの削減、ページデザインの単純化、ダイナミック・パッケージング・オプションの改善、レンタカー表示の簡素化、航空オプションの増加がはかられている。(Travel Wire, 5/24/2004)



Cheap Tickets と同様に、最近サイトの刷新を行なった Travelocity の画面も表示する。両サイトのデザインから、最近の米オンライン旅行社サイトの、シンプルさ（情報を少なく、色も少なく、簡潔な装いにして、第 1 画面から即予約が出来る様にしてある）が良く伺える。



- リジョナル航空の Mesa Air が、US Airways が万一運航停止となった場合の、コンティンジェンシープラン（非常事態計画）を密かに計画している。 B737 による LCC 航空会社の設立から、Virgin Airways との提携による米国 LCC の設立、Pittsburgh 発着の新 LCC 設立と現行リジョナルオペレーションの併設、などの案が検討されている模様。 Mesa の現在の収入は、US Airways のリジョナル路線の運航が 45% を占め、その他は UA（United Express）と America West Airlines のリジョナル路線運航収入が占めている。 なにやら Atlantic Coast Airlines の新 LCC、Independence Air 設立と、似たような話になるのかもしれない。(TheStreet.com, 5/24/2004)
- UA 航空のローコスト運航事業部門（LCO）の Ted が、5月24日、UA のベースである CHI O'Hare 空港からフロリダの Tampa へ初便を運航した。 この夏までに、ORD から Tampa 5, Las Vegas 8, Orlando 7, Phoenix 6, Ft. Lauderdale 4 (全て日間便数)まで拡大される。 DEN 及び WAS 同様に ORD に於いても好成績を上げることが期待されている。 Ted は 2 月の DEN 就航から最初の 3 ヶ月で、L/F86%の好成績を上げている。(Yahoo Finance, 5/24/2004)

- **Alaska** の旅行社と同州在住の 2 人が、旅客の事前スクリーニング・システム **CAPPS II** 導入をめぐり、国土安全保障省（**Dept. of Homeland Security**）と運輸省（**DOT**）を、5 月 24 日提訴した。今までの **CAPPS I** は、ベーシックな旅程情報（片道航空券所持者などの情報）を基に、追加的スクリーニングが必要な旅客を割り出していた。**CAPPS II** は、これとは全く異なるシステムで、今年末の導入が予定されている。**CAPPS II** の新しいシステムは、政府の所有する個人データ、犯罪歴、民間の保有する個人情報、クレジット情報等をベースに、予約時点で旅客を以下の 3 段階のレベルに区分けする。

- ① 最も軽いレベル（許容範囲のリスク）の旅客で、通常のスクリーニングが課される。
- ② 追加的なスクリーニングを受けなければならない旅客。
- ③ 最もリスクの高い旅客で、警察当局の厳重な審査をパスしない限り航空機の搭乗が拒否される。

原告は、**CAPPS II** は、個人情報の侵害もさることながら、当局の、航空会社に対する安全保障上の行政指導が、公にされないままに実行された点を問題にしている。新システムの法的な検討の機会が奪われた事は、最終的には、原告の基本的権利と自由の侵害に当たるとしている。**Alaska** 州の住人にとって、飛行機は、タクシーのようなもので、**CAPPS II** の導入による住民の“足”が奪われる事を、原告はじめ住人の多くは極度に警戒している。（nytimes.com, 5/25/2004）

- **Web** ベースの外国為替サービス **Direct Foreign Exchange**（**DFE**）が、今年初めニューヨークの **Larchmont** で開業した。旅行社は、**DFE** のサイトにリンクし、17 カ国で利用可能な **American Express** のトラベラーズチェックと、80 カ国の外国通貨を販売する。旅行社は、自社ブランド名をこのサービスに冠する事が出来る。**DFE** の名前は表には出て来ない。また、旅行社は、**DFE** の提供するホールセールレートにマークアップする事ができる。カレンシーサービスは、アイルランド銀行で処理される。（**DTW**, 5/25/2004）

- **Travelocity** が、ホテル・ディストリビューターの **SynXis** と、マーチャントホテル契約を締結した。**SynXis** のホテル・インベントリーが、**Travelocity**（国際版を含む）と **Travelocity** の **World Choice Travel** と **Sabre Exclusives** でマーチャント販売される。**SynXis** には、**Interstate Hotels & Resorts**, **Destination Hotels & Resorts**, **Sonesta Hotels and Resorts**, **the Pinehurst Co.**, 欧州サイドのホテルとしては、**Hotels & Preference**, **Luzury Lifestyle Hotels**, **Design Hotels**, **Ronghotels** 等が含まれる。（**DTW**, 5/25/2004）

T D 勉強会 情報 110 （以 上）